

金属部会CPD技術セミナー12 知りたい金属最先端技術3

技術セミナー開催のご案内

12 金属最新技術3 2024年9月8日（日）

座長：中山佳則

セミナー会費：500円

金属要素技術は、様々な産業分野と関係します。技術セミナー

第12弾は、金属最新技術です。金属部会若手、ベテラン技術者がわかりやすく解説します。

第1講13:00- 平野富夫 「X線を用いた残留応力の現場測定技術」

金属材料に外力を付加すると、内部に内力が発生します。材料の弾性変形の範囲を超える外力が負荷された場合は、内力が残りこれを残留応力といいます。残留応力が存在すると、それが原因で破損や腐食等の不具合が発生します。しかし、大きなワークの残留応力を測定するには測定試料を切り出す必要があります。現場で簡単に測定する新しい測定法が開発されたので、その内容を説明します。

第2講14:10- 田中和明 「金属産業におけるデジタル技術」

金属産業の中では、デジタル化しやすい線形分野とデジタル化が遅れている非線形分野があります。政府主導で進められてきたDXについて、筆者の経験を踏まえた技術論を展開します。さらに金属部会が行った短期勉強会での議論や講演を踏まえ、マテリアルズインフォマティックスの進化状況や金属ものづくり現場で実用化されているデジタル技術的についても紹介します。

第3講15:20- 中川高則 「環境負荷低減に向けた容器の技術革新」

包装容器は、基本的な機能として中身が漏れない、持ち運べる、保存できるなどが挙げられます。近年では、これに加え時代に応じたさまざまな役割が求められています。特に環境対応は、包装容器業界において最も重要な課題の位置づけにあります。本講演では飲料容器における環境負荷低減にフォーカスした成形技術についてご説明します。

技術セミナーワンダーランド

皆様、金属部会でセミナー講師を体験してみませんか？

主催 日本技術士会金属部会